

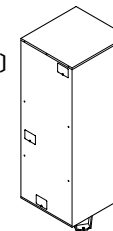
# TOTO

東陶機器株式会社

## 電気温水器


[深夜電力通電制御型(時間帯別電灯対応通電制御型にも切替えます)]

# 取扱説明書




# TOTO

商品のお問い合わせはTOTOお客様相談室へ

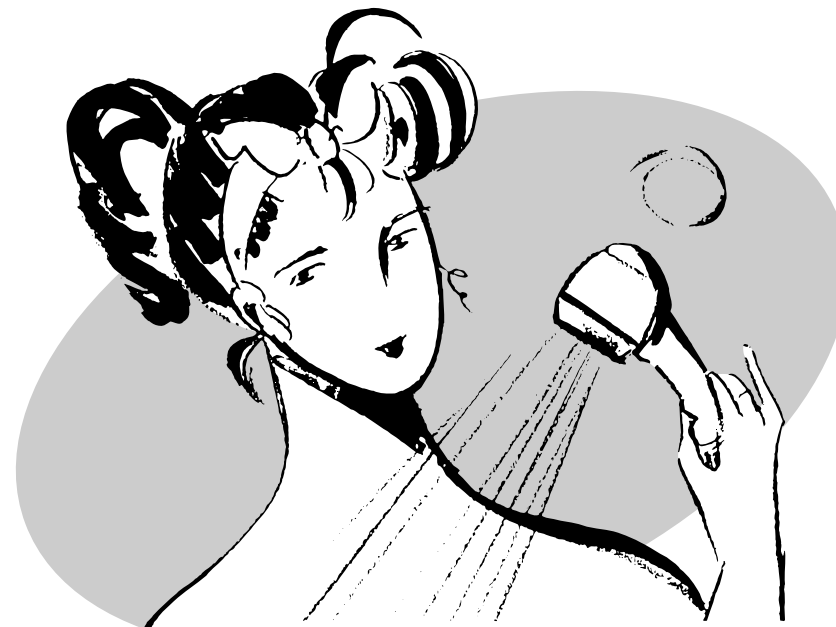
 **0120-03-1010**  
受付時間：平日 9:00～18:00  
土・日・祝日 10:00～18:00  
(夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

修理についてのご用命は東陶メンテナンスへ

 **0120-1010-05**  
受付時間：関東・甲信越地方 8:00～20:00  
：上記以外の地区 9:00～20:00

商品に関するご相談や修理については、下記のお取付工事店・販売店へ



このたびは **TOTO** 電気温水器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは読みかえしてください。

型式名 RE4602型  
RE2002型



品名 湯ぼっと460/200

この電気温水器は申請によって通電制御型として料金割引が適用されます。ご不明な場合は、お取付け店(販売店)又は最寄りの電力会社にご相談ください。



## カンタン操作

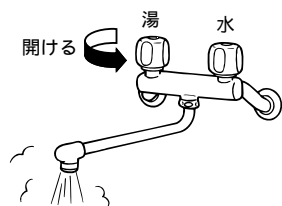
深夜にお湯をわかしていますので出湯は給湯栓を開けるだけ。

約85 / 75 / 60のお湯が出ます。

温度の切替方法は、8ページ  わき上げ温度設定のしかた  をご覧ください。

湯水混合栓でお好みの湯温に調節してお使いください。



湯水混合栓の使用方法は、9ページ  お湯の出しかた  をご覧ください。



## お湯は大切に

1日に使用できるお湯の量は限られています。

お湯は大切にお使いください。

特に冬季は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になり、お湯が使えなくなります。(時間帯別電灯契約にてご使用の場合は昼間のわき増しも可能です。わき増しの方法は12ページ  お湯をたくさん使う(わき増しする)  をご参照ください。)

流し洗いはお湯のムダ使いになります。

お湯は容器に受けて使うとムダがなくなります。

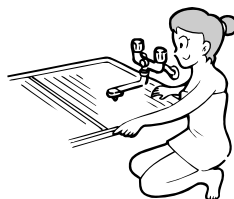
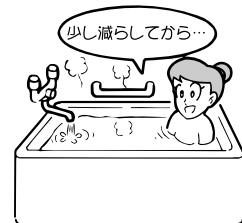
お風呂の湯温を高くしたいときは、お湯を少し減らしてから足し湯を行ってください。

入浴は、できるだけ深夜通電時間帯(午後11時～午前7時...一部の地域では異なります)を避けて入浴してください。

深夜通電時間帯にお湯を使うと翌日の湯温が低くなり、湯量不足になる場合があります。

浴槽には冷めやすいものもあります。

入浴後はふたをしてください。



### 選べる電力契約

この温水器は「時間帯別電灯契約」と「深夜電力契約」のどちらの契約でも使用できます。詳しくは最寄りの電力会社にお問い合わせください。

電力契約によって、温水器の設定変更が必要な場合があります。

#### 「時間帯別電灯契約」

ご家庭のすべての電気製品に適用される電力契約。昼間の料金は電灯契約より若干高くなりますが、昼間でもわき増しが出来るため湯切れの心配がありません。夜間の料金は深夜電力並(昼間の約1/3)ですので、電気温水器以外の電気製品は電灯契約に電気をたくさん使うご家庭に最適です。

#### 「深夜電力契約」

電気温水器のみに適用される電力契約。翌日使用するお湯を午後11時～午前7時(一部の地域では異なります。)の間にわかすためにおきます。料金は昼間料金の約1/3です。電気温水器以外の電気製品は電灯契約となります。

特に注意していただきたいこと .....	1
各部のなまえとはたらき .....	4

使用前の準備 .....	7
使用方法 .....	9
リモコンの使用方法 .....	10
日常の点検とお手入れ .....	15
凍結による破損の予防について .....	21

故障かな?と思ったら .....	22
アフターサービス .....	23
仕様 .....	24

# ✦ 特に注意していただきたいこと ✦

## <安全に正しくお使いいただくために>

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 警告:

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 注意:

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については、つぎのような意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		感電注意
	分解禁止		必ず行う
	接触禁止		アース工事

## 警告

### 分解・改造しない

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。  
(故障、感電の原因になります。)



分解禁止

### 近くにガス・灯油類や引火物を置かない

電気温水器の近くにガス、灯油類や引火物を置かないでください。  
(発火、火災の原因になります。)



禁止

### やけどに注意

給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。  
(やけどのおそれがあります。) シャワーを浴びるときは、手で温度を確かめてから。



接触禁止



必ず行う

逃し弁の動作確認時は、逃し弁・排水口に手を触れないでください。  
(やけどのおそれがあります。)



接触禁止

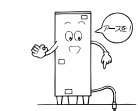
タンク内の熱湯を直接排水しないでください。  
(やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。)



禁止

### アース工事を確認する

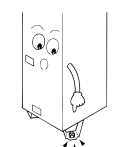
アース工事がされているか確認してください。  
(故障や漏電の時に感電の原因になります。)



アース工事

### 脚がアンカーボルトで固定してあるか確認する

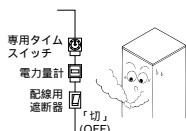
また2階以上に据付けた場合は、上部振れ止め金具で壁に固定されているか確認してください。  
(本体が倒れてけがをするおそれがあります。)



必ず行う

### 異常時の注意

異常時(こげ臭い、本体及び配管部分からの水漏れなど)は配線用遮断器のレバーを「切」(OFF)にして止水栓を閉じ、お取付け店又は東陶メンテナンス(株)に連絡してください。



必ず行う

特に注意していただきたいこと

# ✦ 特に注意していただきたいこと ✦

## ⚠ 注意

### 飲用はしない

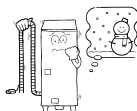
お湯は飲料水として使用しないでください。  
(水質が変化した場合、下痢、腹痛など、体をこわす場合があります。)



禁止

### 凍結予防対策を確認する

(凍結すると配管などが破裂するおそれがあります。)



必ず行う

### 温水器が浴室などの湿気の多いところに取付けられていないか確認する

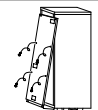
(火災、感電の原因になります。)



必ず行う

### 前面カバーは絶対にあけない

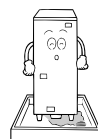
(ショート、感電のおそれがあります。)



感電

### 床面が防水処理・排水処理されているか確認する

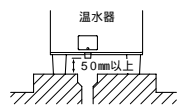
(水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります。)



必ず行う

### 排水口は、排水溝より50mm以上離れているか確認する

(排水が逆流するおそれがあります。)



必ず行う

### 必ず湯水混合栓の湯側から水が出ることを確認してから、専用配線用遮断器および配線用遮断器、温水器の漏電遮断器のレバーを「入」にする。

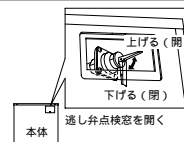
(ヒータが空だきとなり故障の原因となります。)



必ず行う

### 逃し弁を点検する

必ず月に1回逃し弁の点検をしてください。(16ページをご参照ください。)  
(逃し弁が作動しないと、タンクや配管に異常な圧力がかかり破損の原因となります。)



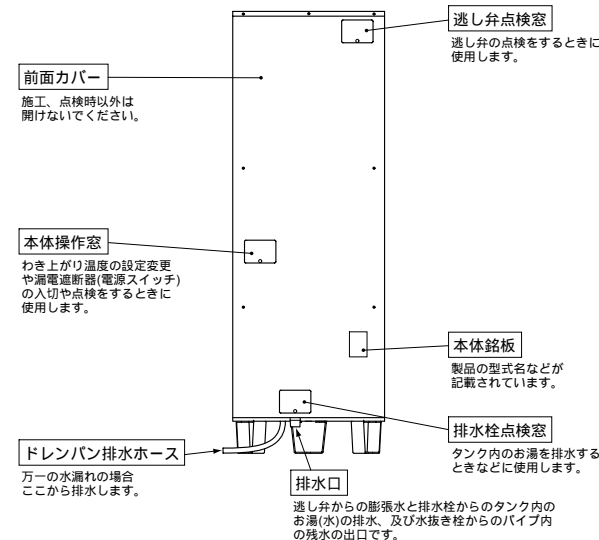
必ず行う

# ✦ 各部のなまえとはたらき ✦

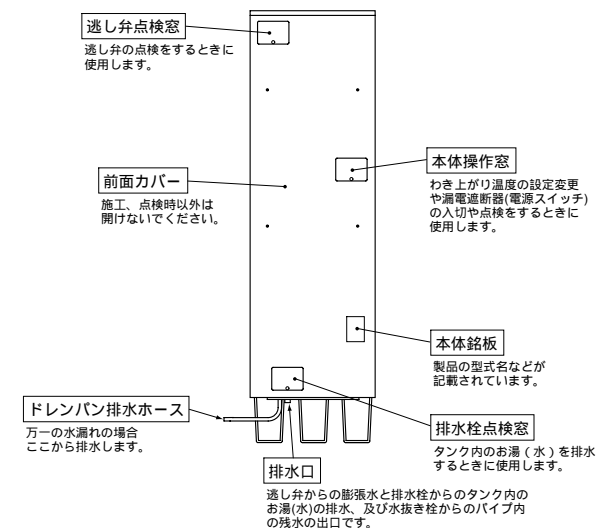
快適なお湯ライフのため、各部のなまえとはたらきを確認され、上手にお使いください。

## 本体外観

・RE4602型



・RE2002型

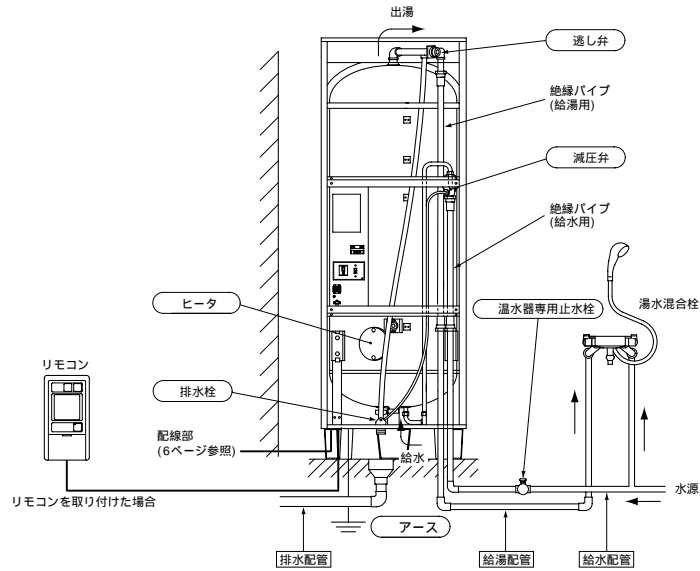


特に注意していただきたいこと  
各部のなまえとはたらき

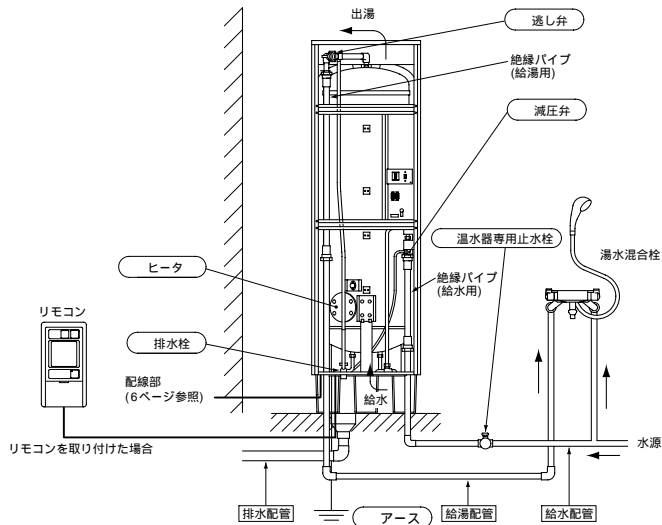
# 各部のなまえとはたらき

## 本体内観及び周辺図

・RE4602型設置例



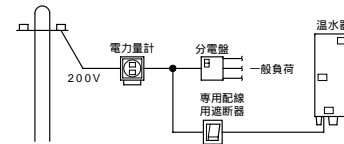
・RE2002型設置例



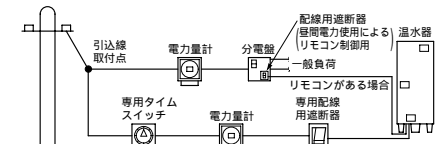
## 配線例

配線は電力契約で異なります。  
電力契約については、お取付け店（販売店）にご確認ください。

時間帯別電灯契約



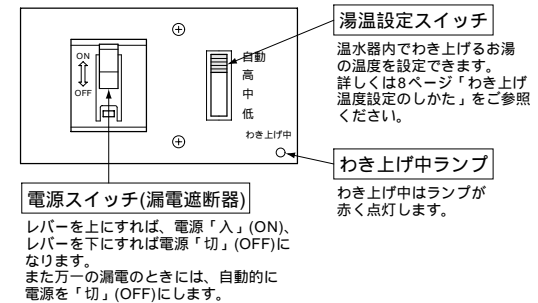
深夜電力契約



- |  |   |   |
|--|---|---|
| <b>アース</b><br>万一の感電を防ぎます。                  | <b>温水器専用止水栓</b><br>タンクへの「給水」、<br>「止水」に使います。               | <b>減圧弁</b><br>タンクへの給水圧力を<br>一定にします。       |
| <b>排水栓</b><br>タンク内の水を排水す<br>るときに操作します。     | <b>逃し弁</b><br>わき上げ時の膨張水を<br>排出しタンク内を一定<br>の圧力にします。        | <b>ヒータ</b><br>夜間わき上げ時及び全量<br>わき増し時に作動します。 |
| <b>専用配線用遮断器</b><br>200V電源の「入」、<br>「切」をします。 | <b>専用タイムスイッチ</b><br>深夜電力電源200Vの<br>供給を自動的に「入」、<br>「切」します。 |   |

## 本体操作部

本体操作窓を開けた部分

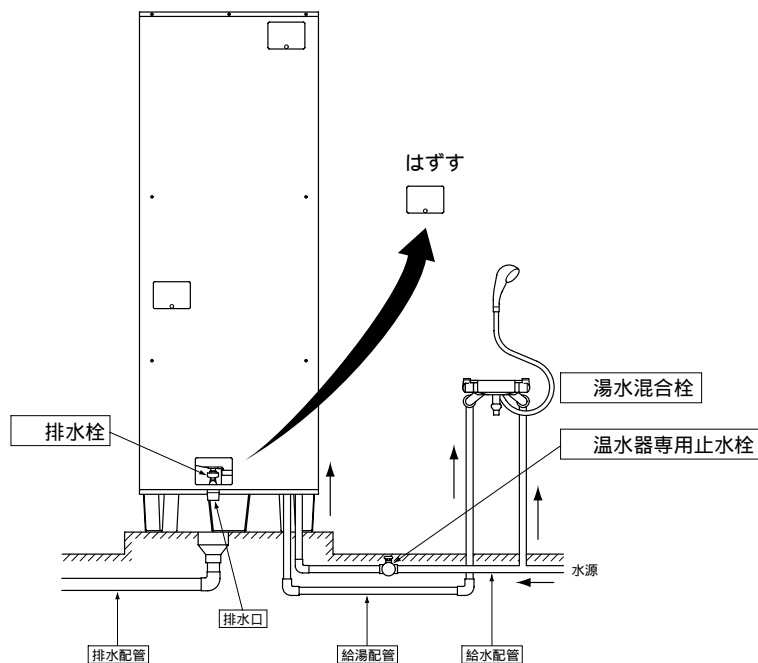


各部のなまえとはたらき

# ✦ 使用前の準備 ✦

## （最初の給水のしかた）

化粧ねじ（1ヶ所）をとり、排水栓点検窓をはずします。  
排水栓を閉じます。  
湯水混合栓の湯側を全開にします。  
温水器専用止水栓を開きます。  
数10分後で湯水混合栓の湯側から水がでてきます。  
これでタンクが満水になりますので湯水混合栓を閉じてください。



### ちょっと一言

温水器専用止水栓を開いてすぐに水がでてきても、配管の中の残水がでてきた可能性がありますのでしばらく給水してください。  
最初は、タンクや配管内のゴミ・油などを流すため、満水になったら一度、全部排水し再び給水してください。（排水のしかた、再給水のしかたは18～20ページを参照してください。）

## ⚠ 注意

必ず湯水混合栓の湯側から水が出ることを確認してから、専用配線用遮断器および配線用遮断器、温水器の漏電遮断器のレバーを「入」にする。

（ヒータが空だきとなり故障の原因となります。）



必ず行う

### ちょっと一言

時間帯別電灯契約でご使用の場合はリモコンの時計の時刻をもとにわき上げを行いますので、必ず正確に時計を現在時刻に合わせてください。  
詳しくは11ページの「時刻を合わせる」をご参照ください。  
通電時間帯は午後11時～午前7時までです。（地域により一部異なります。）  
通電すると逃し弁を通じて、排水口から膨張水が出ますが、異常ではありません。

## （わき上げ温度設定のしかた）

本体操作窓を開ける。  
湯温設定スイッチを以下の内容にしたがって設定してください。

「自動」...お湯の使用状況に応じてわき上げ温度を「高」「中」「低」から自動的に選択してわき上げます。

「高」.....約85 までわき上げます。

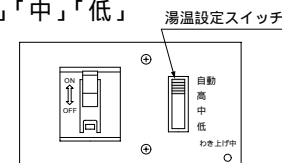
「中」.....約75 までわき上げます。

「低」.....約60 までわき上げます。

タンク内の水温が低いと設定温度までわき上がらない場合があります。

（注）リモコンをお取付けの場合は、リモコンでの温度設定が優先されます。

操作方法は11ページ「お湯のわき上げ温度を変える」をご参照ください。



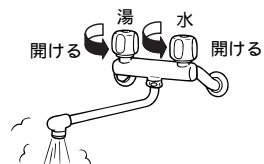
# 使用方法

## お湯の出しかた

給水栓を開けます。

給湯栓を開けます。

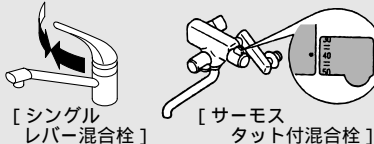
しばらくするとお湯が出ます。



### ちょっと一言

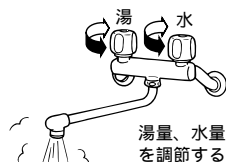
給湯栓を開けたとき、給湯配管内の冷水が出てしまうまでご希望のお湯は得られません。しばらくすると安定した湯温になります。

シングルレバー混合栓の場合にはレバーを中央付近に、サーモスタット付混合栓の場合は温度調節ハンドルを適温(約40℃)付近にしてお湯を出してください。



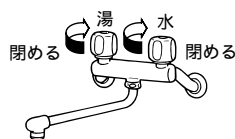
湯量を調節します。

湯量、水量を調節することにより、お好みの湯温に調節します。



給湯栓を閉めます。

給水栓を閉めます。



## 警告

### やけどに注意

給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。

(やけどのおそれがあります。)

お湯を使うときは、まず水から。

水側を開ける

湯側を開ける



シャワーを浴びるときは、手で温度を確かめてから。

温度を確かめて!



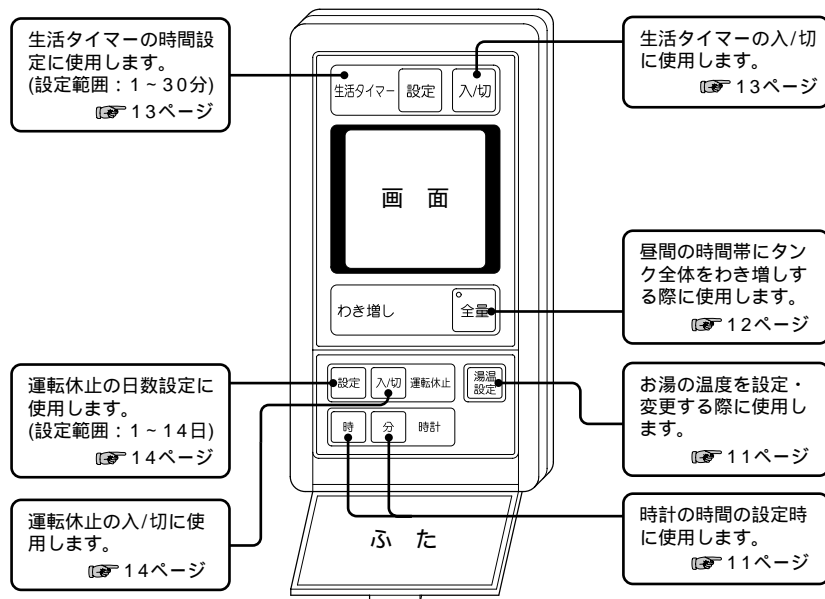
接触禁止



必ず行う

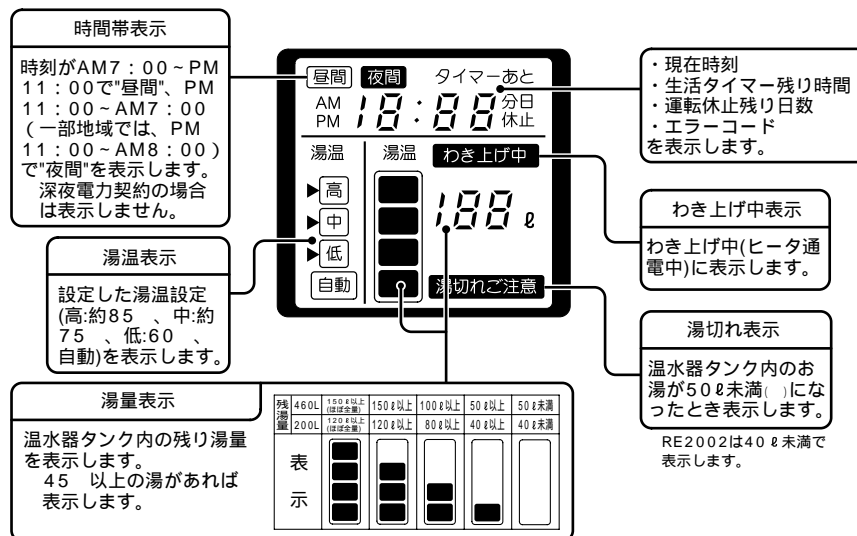
# リモコンの使用方法

## リモコン(別売品:RHE131)のはたらき



...わき増し機能が使えるのは時間帯別電灯契約の場合のみです。深夜電力契約でご使用の場合はスイッチを押しても受け付けません。

## 画面の表示内容



# リモコンの使用法

## 時刻を合わせる

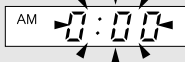


- リモコンのふたを開けてください。
- 時** を押して現在時刻を合わせてください。
- 時** を押すと1時間ずつ、表示部の時刻が進みます。
- 分** を押すと1分間ずつ、表示部の時刻が進みます。
- スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。

設定は以上で完了です。

### ちょっと一言

時間帯別電灯契約の場合は時計の時刻をもとに深夜のわき上げを行いますので、必ず正確に時計を現在時刻に合わせてください。30分以上の停電や漏電遮断器（電源スイッチ）を30分以上「切」（OFF）にした場合などもお買い上げ時（初期通電時）同様に時計表示部が「0:00」で点滅しますので、必ず、時刻を合わせ直してください。

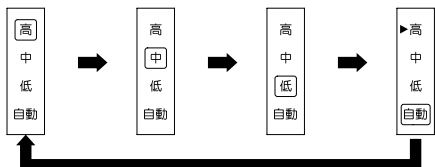


また、時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。時刻は12時間表示です。AM（午前）、PM（午後）を間違えないように合わせてください。深夜電力契約の場合は、時計を設定してなくても深夜のわき上げを行います。

## お湯のわき上げ温度を変える



- 温水器タンク内のお湯のわき上げ温度を設定することができます。
- リモコンのふたを開け、**湯温設定** を押してお好みの湯温に合わせてください。
- 湯温設定** を押すたびにリモコン表示が、以下の順で切り替わります。（最初は「高」に設定されています。）



「高」...約85、「中」...約75、「低」...約60、「自動」...お湯の使用状況に応じて、自動的に高・中・低を選択（▶表示で指示）します。

**注意** お湯のわき上げ温度を低く設定しても高温のお湯が残っている場合がありますので注意してください。

### ちょっと一言

お湯をたくさん使用するとき（冬期など）は、「高」に設定するとより多くのお湯が使えます。（水と混合させて適温で使用する場合。）  
短期間にお湯の使用量が大きく変動する場合は、「高」で使用されることをおすすめします。

## お湯をたくさん使う（わき増しする）

「時間帯別電灯」契約の場合のみ

お湯が不足しそうなときなどには、昼間でもタンク内の水をわかすことができます。



- 全量わき増しをする。**
- 全量わき増しとは、温水器タンク内を設定温度のお湯でいっぱいにしておく機能です。
- 来客などで、たくさんのお湯が必要になると予測できるなどに設定します。（PM11:00になると自動的に解除されます。）

**全量** を押す。▶ **全量** スwitchのランプが点灯。

ヒータが作動すると画面に **わき上げ中** と表示されます。

わき増しを途中で止めるときは、もう一度 **全量** を押してください。スイッチのランプが消灯します。

わき上げ温度を変更する場合は11ページの **お湯のわき上げ温度を変える** を参照してください。

### ちょっと一言

**夜間** 表示中は設定できません。わき増しは、昼間電力でタンク内をわかすため、電気料金は割高になります。わき上げには時間がかかりますので、早目にわき増しを設定してください。また、連続して使用された場合は、湯切れすることがありますのでご了承ください。



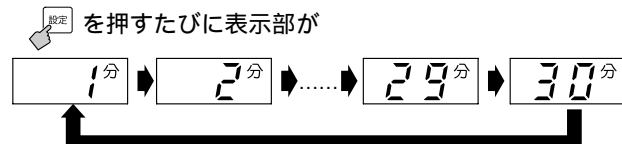
# リモコンの使用法

## 生活タイマーを設定する



1～30分のタイマーが設定でき、時間がきたらブザー（ピピッピピッ）でお知らせします。お風呂にお湯をためるときなどに使用すると便利です。

生活タイマーの **設定** を押してタイマー時間の設定をしてください。



の順に切替わります。（スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。）

生活タイマーの **入切** を押すと、タイマーがスタートし、表示部が **タイマーあと 29分** → **タイマーあと 28分** と、1分刻みでカウントダウンしていきます。

タイマー表示が **タイマーあと 0分** になると、ブザー（ピピッピピッ）でお知らせします。

タイマーを途中で止めたいときは、もう一度生活タイマーの **入切** を押してください。

### ちょっと一言

生活タイマーを使用すると、設定された時間を毎回記憶するので、次回 **設定** を押したときには、記憶されている時間が最初に表示されます。

時間を変更したいときには **設定** を何度か押して変更してください。

タイマー設定時は、時刻の表示はしません。

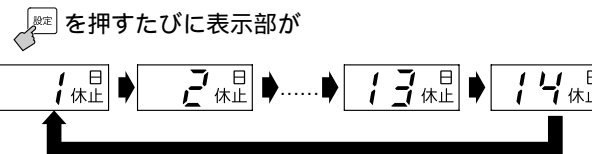
## 運転を休止する



留守中にむだなわき上げををしないように、旅行などで外出するとき1～14日の間で運転を休止させることができます。

リモコンのふたを開けてください。

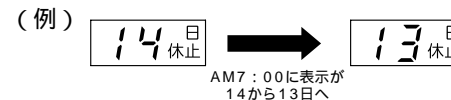
運転休止の **設定** を押して運転を休止する日数を設定します。



の順に切替わります。（スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。）

運転休止の **入切** を押すと設定した日数、運転を休止します。

表示部は1日ごとに休止日数を減らしていきます。  
（AM7：00に表示日数変更）



設定した休止日数が経過すると、運転を再開します。

途中で運転を再開したいときは、もう一度運転休止の **入切** を押してください。

### ちょっと一言

宿泊日数から1引いた日数を設定すれば、帰宅した日からお湯が使えます。

設定例 3泊4日で外出する場合  
3 - 1 = 2 2日休止で設定します。

夜間に運転休止を入れて外出した場合や夜間に帰宅する場合の夜は1泊に数えずに設定してください。

運転休止中は、湯温の設定・変更やわき増しはできません。

運転休止時は、時刻の表示はしません。

30分以上の停電があった場合は、運転休止は解除されます。

また、その場合時計が未設定状態となるので深夜のわき上げも行いません。

# ✦ 日常の点検とお手入れ ✦

安全にお使いいただくために、点検やお手入れを行ってください。

## 点検やお手入れの際のご注意

機器の前面カバーは外さないでください。  
お手入れの際、指先には十分注意してください。

## 点 検

まわりにガス・灯油類や引火物は  
ありませんか？

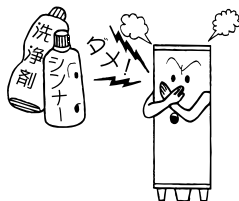
危険なものや不要なものは取除いて  
ください。

電気温水器本体及び配管からの  
水漏れはありませんか？

お取付け店又は東陶メンテナンス㈱に  
ご連絡ください。  
(フリーダイヤル) ☎0120-1010-05

## リモコン・機器外装の手入れ

かたく絞った布でふいてください。  
汚れがひどいときは適量にうすめた中性洗剤  
をふくませた布でふいてください。  
酸性・アルカリ性の洗剤やシンナーなどは  
割れの原因になりますので使用しないで  
ください。



リモコンは絶対に水をかけないでください。

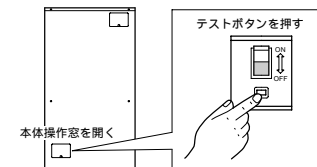
リモコンは絶対に分解しないでください。  
故障の原因になります。



分解禁止

## 漏電遮断器の動作確認

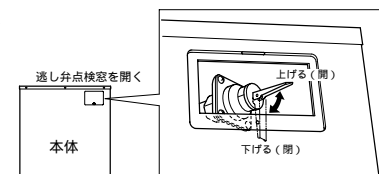
月に一度、漏電遮断器のテストボタンを押して  
動作確認をしてください。  
通電時間帯に漏電遮断器のテストボタンを押  
すと「入」(ON) 「切」(OFF)になれば正  
常です。また確認後は、必ず「入」(ON)に戻  
してください。



RE2002型は操作窓が向かって右になります。

## 逃し弁の動作確認

月に一度、逃し弁のレバーを2～3回上げ  
下げして必ず動作の確認をしてください。  
レバーを上げた時に排水口より排水し、下  
げた時に排水が止まれば正常です。



RE2002型は点検窓が向かって左になります。

## 警告

### やけどに注意

逃し弁の動作確認時は、逃し弁・排水口に手を触れないでください。  
(やけどのおそれがあります。)



### ちょっと一言

逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、排水口より常にお湯が流れて、湯量不足の原因になります。  
逃し弁は、水からお湯になるときの膨張分の水を排水し、タンクを圧力から守る安全装置です。  
逃し弁が正常に動作しないと、タンクが破損し、水漏れや故障の原因になります。

## 本体の水漏れ確認

電気温水器を設置した床面に水が漏れてないか確認する。  
(特に集合住宅では漏水が階下へ被害をあたえます。)

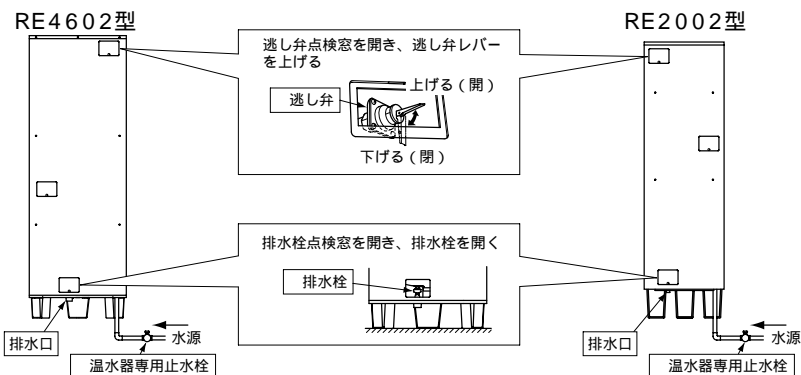


# ✦ 日常の点検とお手入れ ✦

## タンクのお手入れ

月に1回程度タンクの下部にたまった汚れを排水します。

1. 専用配線用遮断器及び配線用遮断器（昼間電力使用によるリモコン制御用）のレバーを「切」にします。[ 6ページ参照 ]
2. タンク内の温度を下げるため、数日間放置するか、お風呂などに給湯してお湯を使い切ってください。
3. 温水器専用止水栓を閉じます。
4. 逃し弁のレバーを上げます。
5. 排水栓を開き、排水します。
6. 汚れた水がきれいな水になったら、排水栓を閉じます。（排水口からの排水が止まります。）
7. 排水が終わりましたら、温水器専用止水栓を開きます。
8. 逃し弁を通じて、排水口より再度水が出てきたら 逃し弁のレバーを下げます。
9. 専用配線用遮断器及び配線用遮断器（昼間電力使用によるリモコン制御用）のレバーを「入」にします。



各点検窓はお手入れが終わりましたら、元通りにしてください。

### 警告

#### やけどに注意

タンク内の熱湯を直接排水しないでください。  
（やけどや配水管が熱で変形するおそれがあります。）



#### ちょっと一言

タンクのお手入れは、深夜通電時間帯をさけて、行ってください。  
湯切れの心配があります。

#### 短期間お使いにならないとき

リモコンが取付いている場合は運転を休止させることができます。  
14ページ「運転を休止する」を参照してください。

専用配線用遮断器及び配線用遮断器（昼間電力使用によるリモコン制御用）[ 6ページ参照 ] のレバーを必ず「切」にしてから温水器専用止水栓[ 5ページ参照 ] を閉じてください。  
再度ご使用になるときは、タンク内の水を取りかえることをおすすめします。

#### 長期間お使いにならないとき

1ヶ月以上使用しないときは、専用配線用遮断器及び配線用遮断器（昼間電力使用によるリモコン制御用）温水器の漏電遮断器のレバーを必ず「切」にしてから、タンクの排水をしてください。  
手順は、下記の「排水のしかた」を参照してください。  
再度ご使用になるときは、20ページ「再給水のしかた」を参照してください。

## 排水のしかた

1. 専用配線用遮断器及び配線用遮断器（昼間電力使用によるリモコン制御用）のレバーを「切」にしてください。[ 6ページ参照 ]
2. 温水器の 漏電遮断器のレバーを「切」にしてください。  
電源の供給を停止します。  
あらかじめ前日に「切」にしておけば、ムダにお湯を捨てることなくあります。
3. タンク内の温度を下げるため、数日間放置するか、お風呂などに給湯してお湯を使い切ってください。
4. 温水器専用止水栓を閉じます。
5. 逃し弁のレバーを上げます。
6. 排水栓を開き、排水してください。
7. タンクの排水が終わりましたら、逃し弁のレバーを下げてください。
8. 排水栓は再給水されるまで開けたままにしてください。排水栓を閉めるとタンク内の空気が冷える際に負圧となって、変形・破損の原因となります。

# ✦ 日常の点検とお手入れ ✦

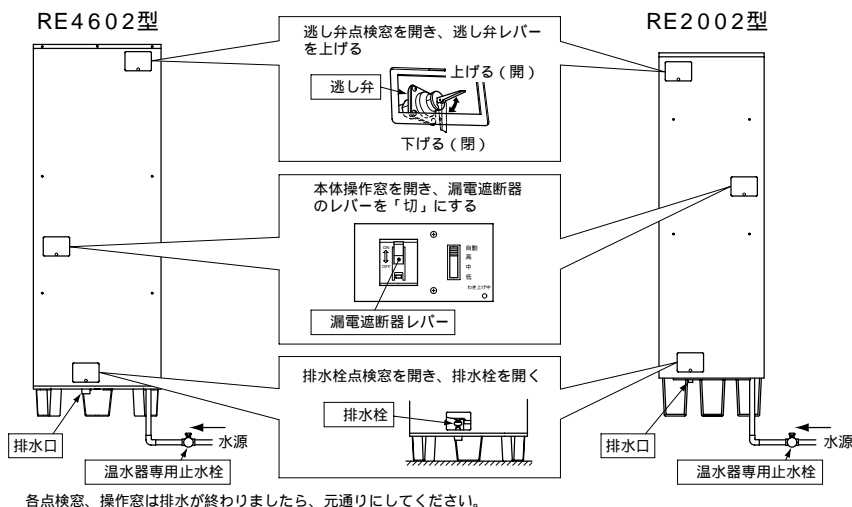
## ⚠ 注意

排水栓は再給水されるまで開いたままにしてください。

(排水栓を閉じると、タンク内が負圧になり、変形・破損のおそれがあります。)



必ず行う



## ⚠ 警告

### やけどに注意

タンク内の熱湯を直接排水しないでください。  
(やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。)



### ちょっと一言

断水時や万一の地震などの災害時は、タンクのお湯(水)を生活用水(飲用は不可)として利用できます。

⚠ やけどにご注意ください

## 再給水のしかた

1. 逃し弁レバーが下がっていることを確認してください。
2. 排水栓を閉めてください。必ず行ってください。
3. 湯水混合栓の給湯栓を全開にします。  
(タンク内に水がたまっていないため、はじめは水が出てきません。)
4. 温水器専用止水栓を開き、給水します。
5. 湯水混合栓から水が出てきたら、湯水混合栓を閉じます。

### ちょっと一言

温水器専用止水栓を開いてすぐに水が出てきても、配管の中の残水が出てきた可能性がありますのでしばらく給水してください。

6. 専用配線用遮断器および配線用遮断器(昼間電力使用によるリモコン制御)温水器の漏電遮断器のレバーを「入」にしてください。

## ⚠ 注意

必ず湯水混合栓の湯側から水が出ることを確認してから、専用配線用遮断器および配線用遮断器、温水器の漏電遮断器のレバーを「入」にする。

(ヒータが空だきとなり故障の原因となります。)



必ず行う

# ❖ 凍結による破損の予防について ❖

冬季は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が0 以下になる場合には、減圧弁、逃し弁や配管が凍結し、お湯が出ないばかりでなく、水漏れなどの原因になります。

凍結によって破損すると保証期間内でも有料修理となります。

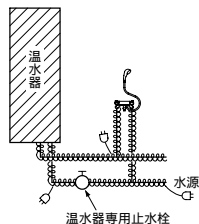
凍結予防対策としては、**凍結予防ヒータによる方法**と**少量の水を流し続ける方法**があり、地域に応じた対策が必要です。どの方法で施工されたのかお取付け店に確認し、その方法にしたがって実施してください。

## 凍結予防ヒータによる方法

凍結予防ヒータが図のように巻かれているかを確認してください。

凍結予防ヒータは何本も使用されていますので、すべてのヒータのプラグをコンセントに差し込んでください。

凍結しない季節は安全のためコンセントからプラグを抜いてください。



## 少量の水を流し続ける方法

配管の水を流しながら、凍結を予防する方法です。

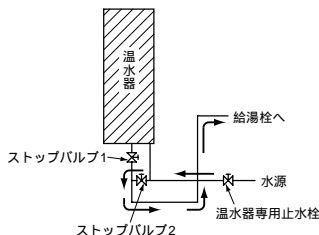
ストップバルブ1を閉じ、ストップバルブ2を開きます。

各給湯栓・湯水混合栓を少し開けて糸ひき状態で水を流します。

翌朝使用するとき

各給湯栓・湯水混合栓を閉じます。

ストップバルブ2を閉じ、ストップバルブ1を開きます。



# ❖ 故障かな?と思ったら ❖

## 修理を依頼される前に

こんなとき	理由
お湯が白く濁ってみえる。	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい気泡になって出てくる現象です。ビール等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害なものです。
お湯から油や臭いが出る。	初めて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混じって出る場合がありますが、数日使用すると消えます。

こんなとき	お調べいただきたいこと	していただきたいこと
お湯が出ない。 お湯の出が悪い。	温水器専用止水栓は開いていますか。	閉じていたら、開いてください。
	断水ではありませんか。	水道局へ問い合わせてください。断水が終わるまで待ってください。
	配管部分が凍結していませんか。	とけるまで待ってください。
お湯がわかない。	リモコンが付いている場合 リモコンの時刻表示部が 0:00 で点滅している。(時間帯別電灯契約の場合)	時間帯別電灯契約の場合は時刻の設定をしてください。 (P.11)
	リモコンが付いている場合 リモコンで運転休止が設定されている。	運転の休止を解除してください。 (P.14)
	専用配線用遮断器及び配線用遮断器(制御用)又は漏電遮断器(電源スイッチ)が「切」(OFF)になっていませんか。	「切」(OFF)になっているときは、「入」(ON)にしてください。2度、3度と「切」(OFF)になる場合は、故障の恐れがありますので、お取付け店又は東陶メンテナンス㈱ ☎ 0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。
	電力量計が動いていますか。(午後11時~午前7時の間)地域により一部異なります。	
	リモコンが付いている場合 リモコンの時計が合っていない。	時計を正常に合わせてください。 (P.11) [夜間] では昼間のわき増しはできません。
お湯がぬるい。 お湯が足りない。	深夜電力の通電中にお湯をたくさん使用していませんか。	翌朝までお待ちいただくか、時間帯別電灯契約にてご使用のお客様はわき増しを行ってください。 (P.12)
	いつもに比べてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	タンクへの給水温度が低温ではありませんか。
	逃し弁の排水口から昼間もお湯が流れ出ていませんか。	逃し弁の動作確認をしてください。 (P.16) お湯が止まらないときは、お取付け店又は東陶メンテナンス㈱ ☎ 0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。
	給湯、給水管から水漏れしてませんか。	お取付け店にご相談ください。
	湯温の設定は「高」になっていますか。	湯切れするときは、湯温設定を「高」(85 )にしてご使用ください。 (P.11)
リモコンが付いている場合 わき増しができない。(時間帯別電灯契約の場合)	電力料金の契約が「深夜電力契約」になっている。	契約が「深夜電力契約」の場合は、わき増しを利用できません。契約については電力会社へご相談ください。
リモコンが付いている場合	リモコンの時計が合っていない。	時計を正常に合わせてください。 (P.11) [夜間] では昼間のわき増しはできません。
リモコンが付いている場合 液晶画面にエラーコード(数字3桁)を表示している。	-	機器の診断が必要です。エラーコードを確認の上、配線用遮断器を切り、お取付け店又は東陶メンテナンス㈱ ☎ 0120-1010-05 (フリーダイヤル) にご連絡ください。

凍結による破損の予防について  
故障かな?と思ったら

# アフターサービス

## 点検・修理を依頼される時

点検・修理を依頼される前に22ページの「故障かな?と思ったら」を見て、もう一度ご確認ください。

確認のうえ、それでも不具合がある場合や不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お取付け店又は東陶メンテナンス㈱☎0120-1010-05(フリーダイヤル)にご連絡ください。

点検・修理をお申し付けのときは、次のことをお知らせください。

製品名又は品番(電気温水器に貼ってある銘板で確認)

不具合現象の内容 取付年月日 お名前・住所・電話番号 お宅までの道順

## 補修用性能部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品は、製造打ち切り後7年(BL認定品は10年)保有しています。なお、補修用性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

## 保証について

製品に保証書が同梱されています。

必ず「お取付店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ保管してください。

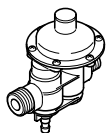
修理を依頼される時は、お取付け店又は東陶メンテナンス㈱☎0120-1010-05(フリーダイヤル)にお電話ください。

保証期間であれば、保証書の記載内容に基づき修理いたします。

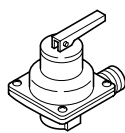
保証期間を過ぎても、修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

## 減圧弁・逃し弁について

減圧弁・逃し弁は消耗部品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性がありますので交換が必要になる場合があります。交換についてはお取付け店又は東陶メンテナンス㈱☎0120-1010-05(フリーダイヤル)にご相談ください。



減圧弁



逃し弁

# 仕様

## 製品仕様

湯ぼっと460

型 式	RE4602 / RE4602B
タ イ プ	深夜電力通電制御タイプ (時間帯別電灯対応通電制御タイプにも切替えます。)
設 置 場 所	屋外(防雨)・屋内・マンション兼用
タ ン ク 容 量	460L
定 格	単相200V 5.4kW
わ き 上 が り 温 度	約85/75/60 /自動 切替
製 品 質 量 ( 満 水 時 )	約76 (536) kg
製 品 寸 法 ( 幅 × 奥 行 × 高 さ )	641 × 690 × 2200mm
最 高 使 用 水 圧	0.75MPa (7.5kgf/cm <sup>2</sup> )
安 全 装 置	漏電遮断器、温度過昇防止器
制 御 方 法	サーミスタによる自動温度調節
ヒ ャ ッ ク	サイズヒータ

湯ぼっと200

型 式	RE2002 / RE2002B
タ イ プ	深夜電力通電制御タイプ (時間帯別電灯対応通電制御タイプにも切替えます。)
設 置 場 所	屋内・軒下・マンション兼用
タ ン ク 容 量	200L
定 格	単相200V 2.4kW
わ き 上 が り 温 度	約85/75/60 /自動 切替
製 品 質 量 ( 満 水 時 )	約50 (250) kg
製 品 寸 法 ( 幅 × 奥 行 × 高 さ )	550 × 500 × 1900mm
最 高 使 用 水 圧	0.75MPa (7.5kgf/cm <sup>2</sup> )
安 全 装 置	漏電遮断器、温度過昇防止器
制 御 方 法	サーミスタによる自動温度調節
ヒ ャ ッ ク	サイズヒータ

注：機器名の末尾に「B」のつくものはBL認定品です。

BL認定品は財団法人「ベターリビング」が優れた住宅設備機器に与えるものです。